

83号

2026.7.31 発行
山梨県甲州市議会

453名の 児童・生徒へ 伝える議会のこと こうしゅつ

市議会広報



特集 キャリア教育出前授業

P2～



6月定例会レポート

P4～



一般質問 7人の議員が市政を問う！

P7～



常任委員会レポート

P15～



マチイロ

マチを好きになるアプリ

※広報紙をスマートフォンやタブレットで



舞台裏の工夫と準備

個人や政党の主張はせず中立であるよう配慮し、時間内に収めるためのチーム練習を何度も重ねた。台本をベースにしながら板書やクイズを追加するなど、各教室で工夫を凝らす。▼▶



▲生徒からの「なぜ議員になったのか」という質問に、キャリア教育の視点から自身の経験を交えて答える。こうした対話の時間は、全ての学校で一律に設けられた。

しかし、今年の出前授業はこれだけでは終わらない。スライドの終盤、議員たちは今夏に開催予定の「子ども議会」に向けたテーマ学習を呼びかけた。今年のテーマは「ウェルビーイング（Well-being）」。耳馴染みのない言葉かもしれないが、一言でいえば「健康で幸福な、良い状態」を意味する。地域の未来も学校生活も、当事者としていかに良い状態を保てるか（＝幸せであるか）が最大のゴールと言えるだろう。

そこで市議会は、子どもたちから「あなた（学校）にとつてのウェルビーイング」のアイデアを募集。それらをもとに「子どものウェルビーイング推進条例」の制定を目指す模擬議会を行う計画だ。

単に政治の仕組みを学ぶだけでなく、子どもたちの意見を実際の条例づくりへと反映させていく市議会の試み。自分たちの声が街の未来につながるという実感を伴いながら、子どもたちは主権者としての第一歩を歩み始めている。

「キャリア教育出前授業」とは

令和5年から始まった、全議員が各学校へ出向いて行う主権者教育の事業。地方自治や議会の仕組み、税金、議員の仕事などについて、児童・生徒に向けて議員自らが授業を行う取り組みで、今年で4年目を迎えます。



▲最後の10分間は質問タイム。「議員になって一番のやりがいは？」など、鋭い質問に議員が真剣に答える一幕も。



◀議員バッジに直接触れられるのも、この日ならではの、ずっしりとした重みに驚く児童も。

令和8年5月、議場を飛び出した市議会議員たちが向かったのは、各学校の教室。目的は、今年で4年目となる「キャリア教育出前授業」を行うことだ。昨年11月の改選により議員の顔ぶれは新しくなったが、この事業は変わらない。今年も「5月の風物詩」として実施された。

4年目ともなると、初回に受講した小学6年生が、今や中学3年生。中学校の教室では、「3年前のこと覚えてるかな？」といった、継続してきたからこそその冒頭のやり取りも見

夏の「子ども議会」へ繋ぐ

一方、小学6年生にとってはこれが初めての体験となる。教壇に立った議員はスライドを用いながら、地方自治や議会の仕組み、議員の仕事などについて、市の未来を担う子どもたちへ分かりやすく語りかけた。時にはクイズを交え、時には笑い声が響き渡るなど、終始アットホームな雰囲気。議員と児童・生徒が触れ合うのもこの事業の醍醐味だ。「市長も市議会議員も特別な存在ではない。もっと身近な存在として認識してもらいたい」と議長がインタビューで語ったその言葉が、見事に体現された空間となっていた。

こうした取り組みの背景には、国が今、全国の学校教育（社会を生きる一人の人間として、自ら考え行動する力を育てる教育）がある。

令和8年甲州市議会6月定例会は、6月8日から6月30日までの23日間の会期で開かれ、令和8年度一般会計補正予算案、条例案など13件の事件について慎重審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

ワインにNFCタグを貼付し、新たな販売促進へ。



NFCタグ導入で甲州ワインの価値を高め販売促進を図る

◆令和8年度一般会計補正予算（第1号）は、86万4000円を追加し、総額を219億2886万4000円としました。主な歳出内容は**民生費**に老人福祉費等として介護保険料特別会計繰入金に86万4000円を追加するものです。主な歳入内容は、**繰越金**に86万4000円を追加するものとしてシステ

で、事業期間の確保から初日での議決となり可決されました。

◆令和8年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）は、172万7000円を追加し、総額を38億9430万6000円としました。主な歳出内容は、**総務費**に一般管理費等としてシステ

ム改修委託料に172万7000円を追加するものです。主な歳入内容は**繰入金**に一般会計繰入金として172万7000円を追加するもので、事業期間の確保から初日議決となり可決されました。

◆令和8年度一般会計補正予算（第2号）は、1億1523万2000円を追加し、総額を220億4409万6000円としました。主な歳出内容は、**総務費**に地域創生推進事業費等として754万4000円、**民生費**に生活保護運営対策事業費等として124万円、**農林水産業費**にワイン振興費等としてNFCタグ製造委託料に220万円、**土木費**に橋りょう長寿命化改修事業費等として8579万5000円、**消防費**に自主防災組織育成事業費等として236万8000円、**教育費**に中学校施設管理費等として1568万9000円を追加するものです。主

な歳入内容は**国庫支出金**に5134万1000円、**県支出金**に6610万円、**繰越金**に2038万6000円、**市債**へ3340万円を追加し、**繰入金**を6515万円減額するものです。なお、補正予算のうち「橋りょう長寿命化改修事業」「防災行政無線同報系システム更新事業」は繰越明許費として可決されました。

◆専決処分を求めることについて（**税条例の一部改正**）は、本年3月31日に公布された地方税法等の一部を改正する法律による地方税法の改正のうち、施行期日が本年4月1日とされたものに関し、関係する条例等について、緊急に所要の改正を行う必要があるとして、専決処分として、採決を省略するとの議長の諮りに対して、「異議あり」の声がありましたが、起立採決の結果賛成多数で承認されました。

「こぴっとひろば」の芝生エリアは、7月から全面供用開始

◆専決処分を求めることについて（令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号））は、居宅介護サービス給付費に不足が生じる見込みとなり、特に議会を招集する時間的余裕がないため、承認されました。

◆水道事業及び下水道事業の設置等に関する**条例等**の一部改正は、公金収納事務のデジタル化及び、情報セキュリティの確保に関する「地方自治法」の一部改正に伴い、同法を引用している本市の関係条例に条ずれが

生じたため、所要の改正を行うもので、可決されました。

◆**行政手続条例の一部改正**は、アナログ規制の見直しを目的に「行政手続法」の一部改正が行われ、公示送達の方法について、デジタル化が図られたことを踏まえ、所要の改正を行うもので、可決されました。

◆**印鑑条例の一部改正**は、印鑑登録及び証明に係る事務指針となる「印鑑登録証明事務処理要領」の改正、及び「出入国管理及び難民認定法」等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもので、可決されました。

◆**公園設置及び管理条例の一部改正**は、市果実の郷スポット広場（愛称こぴっとひろば）について、全面供用開始に伴い、市立公園として管理運営するための規定を整備するため、所要の改正を行うもので、可決されました。

◆**請願第1号**は、最低賃金を1700円に引き上げる



7月1日に供用開始となった「こぴっとひろば」の芝生エリア

GIKAI TOPIC

全国市議会議長会から感謝状



相沢俊行（議長）

廣瀬明弘（前議長）

令和7年度の全国市議会議長会評議員を務めた功績により同会より感謝状が贈呈され、本定例会初日に議場にて、青柳副議長から両君へ手渡されました。

◆**令和7年度一般会計事故**
■**原案に賛成討論**
佐藤浩美議員 最低賃金1700円への引き上げと国の中小企業への直接支援は、労働者の生活保障と地域経済の活性化に不可欠として賛成する。

ことが、農業者や小規模事業者など雇用側の負担増となり、経営を圧迫すると懸念されたため「不採択すべきもの」とした厚生経済常任委員長の報告に対して原案賛成の討論が行われましたが、採決の結果賛成少数で不採択とされました。

繰越し繰越計算書は、「川久保橋補修事業」ほか3件について、不測の事態が生じたことから、事故繰越の措置を講じました。このため4事業の繰越計算書を提出されました。

◆**新型インフルエンザ等対策行動計画改定**は、新型コロナウイルスの経験を踏まえ、国及び県のインフルエンザ等対策行動計画が改定されたことを受け、市の行動計画についても全面改定を実施。このため新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき報告されました。

※「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願…「全国一律の大幅な最低賃金引き上げ」と「中小企業への手厚い国からの直接支援」を両輪で進めることによって、労働者の生活水準の向上と、地域経済の活性化（循環型地域経済の確立）を同時に目指す内容。

※ NFC（Near Field Communication）の略 スマートフォンをかざすことでデータをやり取りする小型のICタグ。限定コンテンツ、ストーリー、ビデオ、産地、テイastingノート、そして醸造家のメッセージなど、ワインに関する詳細情報を得ることができる。



質問議員	質問内容	ページ
高畑 一幸 (政和クラブ)	①公共施設管理について	8
山賀 沙耶 (実来リンクス)	①移住・定住しやすい環境づくりについて ②妊娠・出産に伴う不安・負担の軽減について	9
飯島 孝也 (創生会)	①学校を核とする地域活性化について ②市民活動への寄附制度化について	10
渡邊 敬介 (創生会)	①ふるさと住民登録制度について ②伝統芸能など地域文化の継承について ③副業プロ人材推進事業について ④タクシー事業等の新たな取り組みについて ⑤福祉事業について	11
丸山 国一 (実来リンクス)	①まちづくりについて ②防災・防犯対策について ③窓口対応について ④図書館運営について ⑤子育て支援について ⑥介護保険事業について ⑦熱中症対策について	12
佐藤 浩美 (日本共産党)	①物価高騰・「ホルムズ危機」から事業者の生業をまもる施策について ②「一般廃棄物処理計画中間見直し」について ③『歴史と文化に彩られた』まちづくりについて ④子どもたちに継続した平和学習を	13
小林真理子 (新政会)	①空き家等に繁茂する雑草等の対策について ②小中学校における校外学習、遠征等の移動について	14

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

一般質問

6月定例会では、産業・教育・福祉など市政全般にわたり、6月18日・19日の2日間、一般質問が行われました。それぞれの内容を要約してお伝えします。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。6月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいつでも9月上旬の予定です。



会議録検索システム

令和8年6月定例会議案等議決結果一覧表

(賛成＝○ 反対＝● 退席＝△ 欠席＝欠)

種別		議案 番号	議員名 案件名	掲載ページ	山賀沙耶	渡邊敬介	橋爪孝裕	土屋憲一	佐藤照幸	荻原哲也	有賀公子	佐藤浩美	相沢俊行	平塚悟	小林真理子	飯島孝也	高野浩一	青柳好文	高畑一幸	廣瀬明弘	丸山国一	結果	
				議会議 会広 報	○	○	○	○	○	●	●		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会	承認案	承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（甲州市税条例等の一部を改正する条例制定）	P. 4	○	○	○	○	○	●	●			○	●	○	○	○	○	○	○	承認	
		承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	P. 5	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○		○
	条例案	議案第36号	甲州市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	P. 5																		可決	
		議案第37号	甲州市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	P. 5 P.15	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○
		議案第38号	甲州市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	P. 5 P.15											○	○	○	○	○	○	○		○
		議案第39号	甲州市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 5 P.15																			
	補正予算案	議案第40号	令和8年度甲州市一般会計補正予算（第1号）〔初日議決分〕	P. 4										議長								可決	
		議案第41号	令和8年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）〔初日議決分〕	P. 4 P.16	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○
		議案第42号	令和8年度甲州市一般会計補正予算（第2号）	P. 4 P.16																			
	報告事項	報告第1号	令和7年度甲州市一般会計継続費繰越計算書について																				—
		報告第2号	令和7年度甲州市一般会計繰越明許費繰越計算書について																				
		報告第3号	令和7年度甲州市一般会計事故繰越し繰越計算書について	P. 5																			
		報告第4号	甲州市新型インフルエンザ等対策行動計画改定の報告について	P. 5																			
	請願	請願第1号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	P. 5	×	×	×	×	○	○	×	○		×	○	×	×	×	×	×	×	×	不採択

えっ！子ども議会 今日なの！？

実は、皆様のお手元に届く本日（7月31日）は、子どもたちが主役の「子ども議会」の開会日です。地域への愛着と誇りを胸に語る子どもたちの姿は、次号でたっぷりご報告しますので、どうぞお楽しみに！

速報

CATVでの録画放送&YouTubeでのアーカイブ配信が決定！※

※詳しい放送日時等については、峡東CATVの番組表や甲州市議会ホームページ（YouTubeチャンネル）をご覧ください。

今年のテーマは「ウェルビーイング」

5月に行った出前授業でお願いした各学校の児童生徒の意見を集約し「子どものウェルビーイング推進条例」を制定する模擬議会を行います。



※写真は昨年の様子です。



山賀 沙耶 議員

実来リンクス



甲州らいふ 移住支援
ポータルサイト
(市 HP)

問 移住に関して電話やメール、オンライン等の相談会では、どのような相談が多いか。

答 住まい、仕事、就農、保育、教育相談が多く、体験談や魅力も伝え関係課へつないでいる。

問 移住を断念する理由をどのように分析しているか。

答 主な理由は住居確保の難しさである。空き家は、増えても個人所有のために紹介可能な物件は限られる雇用や就農、自立の不安と、業種職種の少なさも一因。

問 移住希望者の住まいを確保するため、どのような

取り組みを行っているのか。

答 移住支援サイト「甲州らいふ」内で空き家情報バンクを運用している。暮らし情報も一体で発信し宅建協力会が内見契約を支え地域業者へつないでいる。

問 全国版空き家バンクとのサイト連携をどう考えるか。

答 所有者の意向確認が必要となることから、まずは課題の把握に努める。

問 多様な暮らしに対応し、ペット可のお試し住宅を、用意する考えはあるのか。

答 松里と勝沼のお試し住宅2件を現在運用している。

ペット同伴は不可。

問 区や組の運営方法は、地域ごとに異なるが、地域案内のひな形を作り、各地区で活用できないか。

答 県外からの移住者には区や組になじみが少ない方が多い。地域理解と加入を促し区長会でひな形を検討。

問 移住後の支援と対応はどのように行っているのか。

答 補助金受給者について居住継続と定住意思を確認甲州らいふで情報発信し、関係課と柔軟に支援する。

問 市職員と地域との中間的立場で移住前後の相談に対応するコーディネーター

答 現在は地域の担い手が対応しているが、今後研究する

市職員と地域との中間的立場の移住コーディネーターの設置は



勝沼インターを降りて車で3分と好立地な勝沼お試し住宅

を設置する考えはあるのか。

答 区長や民生委員等が地域になじむ支えとなる。地域受け入れと本人の姿勢が定着に重要。今後研究する。

問 市民の妊婦健診や出産は主にどこで行われるか。

答 山梨市立産婦人科医院が65・1%で最も多く、県立中央病院が7・8%、山梨大学附属病院5・6%等。

問 妊娠出産時の移動負担や不安をどう認識するか。

答 母子健康手帳交付時や妊婦訪問で相談に応じる。家族送迎が多いが、事情に

応じ対応策を提案している。

問 出産時交通費補助制度の利用実績はあるのか。

答 国制度により令和7年4月から遠方分娩施設への交通費と宿泊費を助成。概ね60分以上の移動や、医学的理由で周産期医療が必要な妊婦も対象であるが、利用実績はない。

問 出産時の入退院に係るタクシー助成制度を整備する考えは。

答 移動に不安を抱える妊婦に有効な手段だと認識している。県内事例を参考に調査研究する。



高畑 一幸 議員

政和クラブ



戸倉しろやまテラス
(新四季創造株式会社 HP)

旧塩山北中学校の校舎の利活用の考えは

答 大藤診療所、避難所機能や地域公社の活用も視野に検討する



廃校の教室を畳敷きの宿泊施設として活用
(東京都あきるの市 戸倉しろやまテラス)

問 市の公共施設で、稼働していない施設とその規模を問う。

答 公共施設には行政財産と普通財産がある。公共施設等総合管理計画を策定した平成28年以降、普通財産となった施設は、旧塩山北中学校、旧大和中学校および大和自然学校である。施設規模はいずれも1000㎡を超える。

問 施設の維持管理費、管理方針を問う。

答 3施設の維持管理経費は、光熱費、防犯や消防施設等の必要最低限とし、年間約130万円である。

問 建設から相当年数が経過した施設もあり、老朽化対策は重要である。改築、大規模改修、長寿命化は、どのような優先順位のもと実施していくのか。

答 施設の経過年数や老朽化状況を確認し、施設の方針や改修の優先順位を定めていく。個別施設計画改定後に更新、大規模改修の時期や概算の金額を示したライフコストを公表していく。

問 経費削減や効率的な管理に資するためにどのような協議体制で検討をしているのか。

答 庁内におけるマネジメント推進委員会において協議をしている。修繕等の経費全体の高騰が見込まれ、財源不足も予測されるため、民間活力の導入など効率的な手法を研究していく。

問 学校は地域にとって重要な公共施設であり、地域活性化に大きく関わる。現在までの旧塩山北中学校跡地利用の協議の進捗と活用の考えを問う。

答 閉校前に大藤地区、神金地区、玉宮地区の区長が中心となり、跡地活用検討会を立ち上げた。活発な検討が行われ、令和7年11月、

市に要望書が提出された。マネジメント推進委員会の補助組織の旧学校施設活用検討部会において、地域からの要望である、直売所や果樹加工施設、福祉施設など活用を検討している。

問 閉校後の校舎を避難所に

問 市の指定避難所となっている体育館は、長期間に及ぶ避難生活において冷暖房や居住環境の面では限界がある。既存の校舎の避難所機能を強化して活用する考えはあるか。

答 避難所としての校舎の活用は選択肢の一つとして検討する。

問 平時においても地域コミュニティの形成の場としての活用の考えを問う。

答 有効活用のモデルケースとなれば、他の施設にも活用できるため政策的な観点からも検討する。

問 市長 利便性に課題のある大藤診療所の対応は急務である。避難所機能や地域公社の活用も視野に入れた、拙速を避け、庁内で慎重かつ速やかに最適な方針を検討する。



渡邊 敬介 議員

創生会



甲州市副業プロ人材活用推進事業
(市HP)

問 ふるさと住民登録制度の意義を問う。
答 地方創生2・0の実現に向けた取り組みの一環として創設する新たな制度で、住所以外の特定地域との継続的な関係を構築する仕組み。具体的には、本市に関心を持つ方がアプリケーション上でふるさと住民登録し、発信する情報で地域活動への参加機会を得る。また、関係人口が増えることで地域活力の維持向上など、地域経済の活性化が期待される。

問 副業プロ人材活用推進事業の令和7年度の実績は。
答 参加事業者は10社。取り組みの具体的な事例は市内温泉旅館における企画・運営に関する提言・助言、地方創生事業を進める事業者の認知度向上や情報発信に関する支援、食品製造小売

問 副業プロ人材活用推進事業の令和7年度の実績は。
答 本年4月から塩山駅週末夜間運行事業を開始、事業者に対し運行支援金を補助。週末夜間、毎週金曜日から日曜日に運行した結果、4月190台、5月243台の配車実績があった。一週当たりの平均配車台数は

問 18台で高評価を得ている。AI自動運転タクシーの取り組みの実証地域として勝沼地区を選定した理由や、地域特性を踏まえての判断基準を問う。
答 市街地を形成する中に観光ぶどう園、ワイナリー等の集客施設が点在する観光地としての特性と、生活道路や農道、幹線道路等様々な利用環境を有し、生活、観光交通の両立を目指す地域モデルの実証地域として県により選定された。

問 高齢化が進む中、免許返納後の移動手段の確保としてシェアカー利用の現状をどう捉えているか問う。
答 免許不要のシェアカーは、買い物や通院など高齢者の自立した外出をサポートする移動手段として注目されており、歩行者として歩道を走れる電動車両であることから、全国的に需要が高まっていると承知している。今後、免許返納者の増加に伴い、利用者も増加することが想定されるので、バッテリーの充電などを心配することなく、外出ができる環境づくりに取り組む。



市指定の無形民俗文化財「藤木道祖神祭太鼓乗り」

答 市内の事業経営者が抱える悩みをプロ人材と共に考え、実践する制度

問 副業プロ人材活用推進事業とは



杉本家住宅（京都、重要文化財）
民間主導で寄附を集め、大屋根葺き替え工事を行った

問 学校再編論議で適正規模とは何か、学校が地域で果たしてきた役割、人を育てる環境としての価値をどう評価しているか。
答 学校再編審議会は今現在審議の途中で、適正規模は答えられない。また、市内全校にコミュニティスクールを設置し、地域学習の際に講師を依頼する等、学びを支えることにより、地域の活性化が図られている。
問 学校数や学級数を標準モデルだけでとらえず、教育内容や地域との関係性を含めた小規模分散型再編を

考慮しているか。
答 少人数では協働的な学びが出来なくなることや危険し、適正規模での審議を行っている状況。
問 AIが人の役割を代替していく時代に、学校はどのような質的転換を果たすのか、役割について問う。
答 学校は、AIの適切な活用方法を学び、多くの仲間や地域の人のリアルを学ぶ場と考える。
問 地域人材が教育に深くかかわる仕組みへ転換する具体的な考えがあるか。
答 学校支援地域ボランティア事業により、地域ぐるみで支援を行っている。学校課題を共有できるよう取り組みを進めていく。
問 幼稚園、保育園、小学校の連携について、制度面も含め具体的な見解を問う。
答 幼児教育推進協議会の設立、及び幼保小担当者が交流する機会を設けている。
問 子どもの居場所について、児童館や公民館等、既存の公共施設の活用を進めることができないか。
答 地域住民からの要望、利用状況を精査した上で、協議、検討する必要がある。

問 様々な解決すべき課題があり、現状は難しい。
問 個性的な公益事業を支援できるクラウドファンディング型のふるさと納税制度、市区町村で指定する法人への寄附に関する個人住民税の控除の仕組みを活用した寄附制度は可能か。
答 法制度上は活用可能だが、現時点で課題が多く、導入は困難と認識している。

答 法制度上は活用可能と認識

問 市指定の法人への寄附は住民税控除への仕組みとなるか



飯島 孝也 議員

創生会



「令和の日本型学校教育」を推進する学校の適正規模・適正配置の在り方に関する調査研究協力者会議議論のまとめ（同会議 pdf）

問 市民活動に個別的な公益性を持つ活動があると認識しているか、また、それに対して、十分な支援が来ていると認識しているか。
答 様々な市民活動があり各種補助金や助成制度、情報提供等を行うことで、十分な支援を実施している。
問 既存の支援の枠組みでは個別的な公益の追求には十分合致せず、別の枠組みが必要ではないか。
答 関係課が市民団体からの相談に応じ、活動内容や課題に合わせた支援を行っている。今後も既存の支援制度の活用推進に努める。
問 納税者の意思を個別的な公益を追求する市民活動に充てられるか、納税者民主主義的な仕組みをつくるべきではないか。
答 様々な解決すべき課題があり、現状は難しい。



佐藤 浩美 議員
日本共産党



甲州市一般廃棄物処理基本計画
中間見直し
(市 HP)

「歴史的風致維持向上計画」第2期計画を考える際、専門家だけでなく、市民のワーキンググループ等の活用を考えないか。

現在「歴史的風致維持向上計画協議会」で、学識経験者や各種団体の委員から意見をいただきながら計画の進捗評価を行っている。市民参加の手法も含め、様々な可能性を検討する。

ナフサ不足で資材が不足あるいは価格高騰が、業者の生業を圧迫している。市内事業者への直接支援が必要ではないか。

この物価高騰対策については、先日成立した国の補正予算によるガソリン、電気、ガス料金等の補助や市の制度融資等の状況を踏まえ、国・県の役割分担をしつつ支援をする。

中間報告の中には、再資源化の項目で、平成27年度から令和6年度までの変化を見ると、その他プラは、分別を徹底すれば収集量が増えるはずだが、増えていない。これをどのように考

「歴史的風致維持向上計画」第2期計画を考える際、専門家だけでなく、市民のワーキンググループ等の活用を考えないか。

現在「歴史的風致維持向上計画協議会」で、学識経験者や各種団体の委員から意見をいただきながら計画の進捗評価を行っている。市民参加の手法も含め、様々な可能性を検討する。



粗大ごみを直接持ち込む場所の一つである
甲府・峡東クリーンセンター

答 対象品目の拡大や、民間リユース事業者との連携に取り組む

問 粗大ごみ等の再使用徹底の取り組みは



市内各地に設営される「涼み処」

民間事業者によるリゾートホテルの計画概要は。フルーツライン東側に地上5階50室の高級宿を建設。令和11年の開業へ、来夏の着工を目指している。

移動図書館の運用はどのように想定しているか。約500冊積載した車で施設や山間地を巡回。貸出管理システムを整え来年から本格運用を開始する。

現在23団体が登録。水分補給の推進や啓発、大塚製薬の協力で研修も実施。

答 子育て世帯の負担軽減へ向け、補助制度を早期に創設する

勝沼地域でAI自動運転タクシーの実証始まる

マイナカードの支所で対応は。利便性向上のため7月から勝沼と大和の支所で更新等を可能にする。

高年齢者施策の基礎調査結果はどうか。ニーズや在宅実態を調査。認知症や排せつ、食事、送迎に不安が高いこと等を把握。次期計画に反映する。

問 保育所等の主食・副食費の補助制度を



丸山 国一 議員
実来リンクス



「甲州市熱中症対策協力サポーター」を募集します！
(市 HP)

新しい防災気象情報への対応は。新たな警戒レベルと連動した避難指示を出す。地域防災計画へ反映する。

長期休暇の昼食は。保護者の約7割が希望するも、物価高騰で利用の希望金額では業者の確保が困難。今後も調査研究をしていく。

*1 部分運転自動化（ハンドル操作や加減速が自動、ドライバー監視必須）
*2 高度運転自動化（特定条件下で完全自動運転、ドライバー不要）



問 公園内で事故や怪我があった場合の補償体制は。
答 他の公園同様、全て個人の責任としている。
問 維持管理の計画は。
答 当初予算で維持管理業務委託を計上、業者へ委託発注し維持管理を行う。あわせて職員等の目視による点検で対処していく。



インターバル速歩など健康づくりや交流の場として期待される「こびっとひろば」

■公園設置及び管理条例の一部改正
問 条例改正施行日の令和8年7月1日に予定されているセレモニの内容は。
答 午前9時から30分程度グラウンドゴルフの体験や集まった方たちに説明や案内をする予定である。
問 公園内で事故や怪我があった場合の補償体制は。
答 他の公園同様、全て個人の責任としている。
問 維持管理の計画は。
答 当初予算で維持管理業務委託を計上、業者へ委託発注し維持管理を行う。あわせて職員等の目視による点検で対処していく。

問 利用形態が主にグラウンドゴルフ場のようなものであるが、利用のルールは。
答 グラウンドゴルフ専用ではない。芝生等を利用しての軽スポーツ、健康等に特化した利用を考えている。また、大会やイベントの開催は、申請により利用可能。
問 朝市やキッチンカー等、営利目的でのイベント

「こびっとひろば」は、軽スポーツ、健康等に特化した利用を考えている



甲州市公園設置及び管理条例 (市 HP)

厚生経済常任委員会

6月23日

開催の考えは。

答 使用許可を取れば可能。

■その他で質疑した主な項目は以下の通りです。

◎塩山駅南口県道整備等の現状◎世界農業遺産関連の取り組み◎シルバー人材センター◎物価高騰の市内経済への影響と市の対策◎介護保険関連のニーズ調査

厚生経済常任委員会

◎飯島孝也 ◎有賀公子
廣瀬明弘 ◎高畑一幸
青柳好文 高野浩一
萩原哲也 渡邊敬介

答 様々な観点から調査、研究していく

問 空き家管理制度の導入は



部活動の遠征にも使用しているスクールバス

問 令和5・6年度職員による空き家調査の結果は。
答 空き家と判断された700戸を、建物の評価を健全度準にA・B・C・Dで判断した結果、対策が必要なC・D評価が43戸で、C評価（修繕が不可、居住不可能）は31戸、D評価（解体等が必要）は12戸である。
問 所有者を把握できない空き家の数が前回調査と変わらない理由は。
答 所有者を把握できない空き家は104戸。空き家対策の推進に関する特別措置法においても追跡ができないため減っていない。

問 空家家等から繁茂した草木の相談件数と対応は。
答 令和4年度20件、5年度23件、6年度54件、7年度38件。相談を受け次第速やかに現地状況を確認し、所有者に対して直接訪問、または文書を送付して早期の伐採や草刈りのお願いをしている。
問 危険が近隣住民に及ぶおそれがある場合、どのように安全確保に努めているか問う。
答 関係機関などと連携しながら、可能な対応を行っていく。

問 市外に住みながら空き家を所有し、家屋敷課税を納めている方は大切な関係人口である。雑草等の除却委託制度や空き家管理制度を導入する考えは。
答 現在取り扱っていない状況である。様々な観点から調査、研究をしていく。
問 前回部活動の移動に関して検討するとの答弁の対応状況は。全国的に移動ルールを見直す動きが広がっているが対応は。
答 県内外での大会及び県外の練習試合等は、公共交通機関での移動を基本とし、

地理的に不可能な場合は民間事業者へ委託し、バスによる移動とした。県内での練習試合等で移動手段がない場合には、保護者内で協議し送迎を行うなど変更した。
問 仕事や諸事情により送迎できない場合はどうするのか。
答 令和7年度から塩山中学校ではスクールバスの活用を行っている。
問 保護者や教職員が車を出さなければならぬ場面をなくすべく考えるが見解は。
答 学校とも調整を行うなど新たな運用ルールを設ける。
問 スクールバスと庁用バスの予約や運行管理と安全管理責任は誰か。
答 どちらも教育総務課に申請、管理規定に基づき運行管理、安全対策は市及び市教育委員会において行う。
問 土日部活動の登下校便が3路線3台から1台に変更された理由は。
答 休日部活便の運用方法を改正したため。1台は地域から学校へ、2台は学校から遠征先への生徒の移動に利用している。



小林真理子 議員

新国会



部活動の遠征等における安全確保について (スポーツ庁公式 HP)

■印鑑条例の一部改正
問 マイナンバーカードの更新手続き等は令和8年7月1日から支所で可能になるか。
答 現在、掲示板に貼り付けているものは、期間が経過したら順次取り外している。同様にホームページ上から削除することになる。

総務文教常任委員会
◎平塚 悟 ◎土屋憲一
丸山国一 小林真理子
相沢俊行 佐藤浩美
佐藤照幸 橋爪孝裕
山賀沙耶

マイナンバーカードと在留カード等の一体化が可能に



在留カードとマイナンバーカードの一体化 (出入国在留管理庁 YouTube)

総務文教常任委員会

6月24日

総務文教常任委員会を6月24日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■行政手続条例の一部改正

問 不利益処分の名宛人の所在が判明しない場合における公示方法の見直しについて、現状は市役所の本庁と支所に2週間掲示となっているが、インターネットの場合は2週間後にファイルやページを削除するのか。
答 現状、掲示板に貼り付けているものは、期間が経過したら順次取り外している。同様にホームページ上から削除することになる。

■その他で質疑した主な項目は次の通りです。
◎楽天市場の甲州市ファンクラブ◎民間企業や団体との連携協定◎旧学校施設の維持管理費用◎文化財保存活用地域計画の策定◎国際交流事業の参加者選定方法◎スクールバス利用方法◎小中学校の災害予防と対策

※行政庁が法令に基づき、特定の者に対して、直接義務を課したり権利を制限したりする処分。

エイズ市中学生訪問団 議場へ、議長がお出迎え



▲前日夜、甲州市に到着したばかりのエイズ市中学生訪問団と議長

「Hello everyone, and welcome to the Koshu City Council Chamber! I'm Toshi Aizawa, the chairperson of this council.」(皆様、こんにちは。甲州市議会議長、アライザワ トシです。私は本市議会の議長を務める相沢です。)流暢な英語で議長に歓迎の声を響かせたのは、相沢議長で

す。国際交流委員会が推進する米国アイオワ州エイムズ市との姉妹都市交流事業により、今年度は20名の中学生訪問団が本市を訪れました。毎回の恒例となっている議場見学ですが、今回は議長自らがスピーカーを務めました。前夜に到着したばかりで少し疲れの見える中学生たちを労いながら、約20分間の持ち時間の中で、甲州市の概要や議会の仕組み、エイムズ市との違いなどを、時折ジョークを交えながら得意の英語で軽快に説明。翌夜の歓迎パーティーを前に、議会や議員の役割を伝える素晴らしい自己紹介となりました。その後の質疑応答では、「市のシンボルマークのモチーフは?」「議員にはどうやってなるのか?」「選挙にかかる期間は?」といった質問が飛び交いました。これらは、今年5月に市内の中学校で行われた「キャリア教育出前授業」で地元の生徒たちから出た質問とほとんど同じ内容でした。国や地域は違っても、社会に触れ始めた中学生が抱く疑問や関心は共通している――。そんな確かな実

感が得られた有意義な議場見学となりました。「太平洋の東側に住んでいるようにと西側に住んでいるようにと、地域社会に奉仕し住民を幸せにするという同じ情熱と献身を私たちは共有していると心から信じています。また、この機会がいつか、日本とその文化に対する皆様の理解を広げ、深める一助となることを切に願っております。そして、皆様が甲州市での滞在を楽しんでくださることを願っておりますが、ロティサリーチキンが恋しくてたまらなくなるのではないかと少し心配しております」と議長は結びに、ユーモアを交えてエールを送り、温かい拍手の中で見学は締めくくられました。



▲エイムズ市のティーンエイジャーとの交流は良い刺激となったと話す相沢議長



予算決算常任委員会

6/8

6/25

山梨大学と地域課題解決型 マッチングファンド 共同事業で4事業

予算決算常任委員会を6月8日、25日に開催し、令和8年度補正予算を審査しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
■補正は報酬改定によるシステム改修のみか。
■加算拡充に伴い給付が



奥野田小では牛奥みはらしの丘の活用方法の提言をまとめ、実行に移した

増える可能性はあるが、現状の予算で運用し、必要に応じて考えたい。
■自前の改修はできないのか、委託先は随意契約になるのか。
■開発元から事業者がソフトを購入して改修する流れであることから自前は困難。基幹システムであることから現在の委託業者でないと対応できず、結果として随意契約になる。

■一般会計補正予算(第2号)
■県補助金で足りない部分にふるさと支援基金を充当して、給食費無償化を継続する方針か。
■給食の賄材料費約1億4500万円のうち、当初予算で1億3500万円を基金から充当していた。今



地域人材ネット(地域力創造アドバイザー)(総務省HP)

後も足りない部分は充当し、無償化を継続していく。
■地域力創造アドバイザーとは。
■外部専門家をスポットで活用、今回は地域公社の事業への専門的助言を想定しており、内諾も得ている。
■公社の事業計画が見えない中、どういう背景で人材を選んだのか。
■公社では果実の加工などを検討しており、その分野に長けた人材である。
■地域課題解決型マッチングファンド共同事業で、市が提示した課題に対して山梨大学側から手が挙がった4つの事業とは何か。
■剪定枝に関する3事業(キノコ栽培用菌床化、スモークチップ化、防草シート化)と、塩山温泉郷の活性化に資する事業。
■涼み処の確保は進んでいるか。場所のマップ作成・情報発信はしているか。
■周知はホームページや広報に一覧を掲載、今後わかりにくい場所が増えた場

合はマップ作成をする。
■原産地呼称やGI制度が購買意欲に直結していない現状から、ワインへのNFCタグへの付与情報をどう精査していく考えか。
■第1次情報として醸造家や畑、醸造の様子を伝え、購入後に第2次特典が付く仕様となっており、開封場所の追跡も可能。今後のマーケティングに活かせる。
■授業時数特例校制度を活用した奥野田小の成果は。
■牛奥みはらしの丘の活用方法を提言にまとめた。発達段階や地域の状況に応じたきめ細かなテーマ設定と学びが可能となっている。

※1 原料ぶどうの産地を明確にし、甲州市産ワインの品質と信頼性を確保するための制度。
※2 特定の地域で生産される農林水産物や食品などの名称を、地域特有の品質・社会的評価とともに保護する制度。

三十三限目 のんちゃん 絵日記 （作）のえろ 〇月×日



ここにナフサ

LPガス

ナフサ

灯油

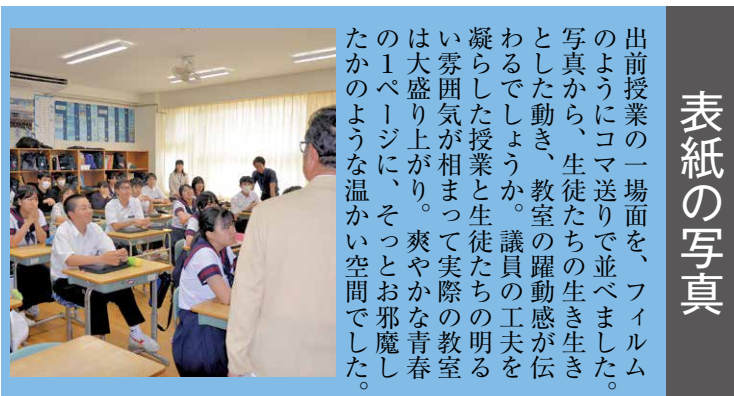
軽油

重油

残渣油

地下から汲み上げられた原油にはいろいろな油の成分が混ざっていて熱すると沸騰する温度の違いで成分ごとに分ける事が出来る

ナフサを高温でさらに分解すると・・・



表紙の写真

9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28	29
				本会議 (開会) 予算決算 常任委員会 (前期)		
30	31	9/ 1	2	3	4	5
	予算決算 常任委員会 (前期)					
6	7	8	9	10	11	12
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予備日	厚生経済 常任委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	総務文教 常任委員会	予算決算 常任委員会 (補正予算)	予算決算 常任委員会 (総文分科会)	予算決算 常任委員会 (総文分科会)	予算決算 常任委員会 (厚経分科会)	
20	21	22	23	24	25	26
				予算決算 常任委員会 (厚経分科会)	予備日	
27	28	29	30	10/ 1	2	3
	予算決算 常任委員会 (後期)		本会議 (開会)			

○午前 10 時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)
○市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室
(市役所本庁舎 3 階) へお越しください。

8月を迎え、夏の日差しが一段と力強さを増してきました。厳しい暑さが続くこの時期は、体調を崩しやすくなります。のどが渇く前の水分補給や適度な休息を心掛け、エアコンも上手に活用しながら、熱中症には十分お気を付けてください。市内では桃の収穫が一段落し、ぶどうの季節へと移り変わります。生産者の皆様は、天候を気になけながら丹精込めて育てた果実の収穫に励まれています。今年も豊かな実りとなり、甲州市の魅力が全国へ届くことを願っています。

議会広報は、市民の皆様と議会を結ぶ大切な架け橋です。議会では何が話し合われているのかを分かりやすくお伝えし、少しでも議会を身近に感じていただければ幸いです。(高)

議会広報編集委員会
市議会議員 相沢 俊行
編集委員長 廣瀬 明弘
副委員長 山賀 沙耶
委員 飯島 浩一
小林 孝也
相沢 俊行
佐藤 孝幸
土屋 憲一
渡邊 敬介



ようこそ甲州市議会へ！

子どもたちは議場の広さや議長席に興味津々。保育園児も小学生も普段入ることのない議場で、楽しみながら議会への理解を深めていました。



赤尾保育園

6/5

傍聴も可能！

甲州市議会広報 No.83

発行 甲州市議会
発行責任者 甲州市議会議員
編集 議会広報編集委員会

〒 404-8501 山梨県甲州市塩山上於曽 1085 番地 1
TEL.0553-32-2111 内線 3111 FAX.0553-32-3122
メール gikaijimukyoku@city.koshu.lg.jp

甲州市ホームページで
議会広報のバックナンバー
が読めます。



この印刷物は再生紙を使用しています。